

地域全体で子どもたちを育む

～たまがわ地域協育ネットの取組～

【萩市 田万川中学校区】

地域の概要

田万川中学校区は山口県の北端に位置し、島根県益田市及び津和野町に隣接しています。四季を通じて風趣に富む自然豊かな地域で、農業・水産業が基幹産業です。

校区内は比較的広く、保育園2園(本園と分園)、小学校2校、中学校1校があります。小川小学校区の生徒は、田万川中学校へスクールバスで通学しています。

人口	3,089人
世帯数	1,359世帯
対象校・園 及び園 児・児童・ 生徒数	田万川中学校 75人
	多磨小学校 62人
	小川小学校 50人
	田万川保育園 46人
	同 小川分園 26人

組織の内容

田万川地域では、これまでも、田万川地域PTA連絡協議会、青少年育成市民会議、ふるさとづくり協議会など、子どもたちを守り育てるための様々な関連組織があり、それぞれ活動してきました。

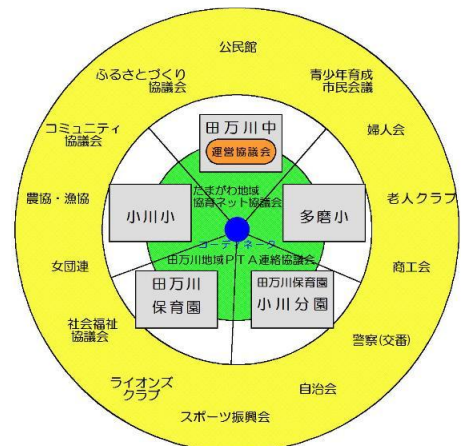
また、田万川中学校においては、平成17年から県内初のコミュニティ・スクールとなり、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進をめざして、学校・家庭・地域の連携と協働による取組を展開しています。さらに、平成21年度から、田万川中学校支援本部「てつだい隊」を設置し、現在、団体及び個人を合わせて約80件のボランティアの方々の登録があり様々な支援をいただいています。

各小学校・保育園でも同様に、地域との密接な連携のもと教育活動、環境整備、子ども見守り活動、放課後子ども教室などいろいろな場面で多くの方々に支援や協力をいただいています。

こうした中、このたび「たまがわ地域協育ネット」を立ち上げるにあたっては、既存の関連組織の活動を生かしながら、より効果的、実効的な取組を推進するには、どのような組織構成が望ましいか検討を重ねてきました。その結果、既存の「田万川地域PTA連絡協議会」を母体とし、これに地域の主な組織や団体等の関係者に加わっていただいた組織「たまがわ地域協育ネット協議会」で取り組んでいくこととしました。

「田万川地域PTA連絡協議会」では、保育園、小学校、中学校のPTAが緊密に連携し合い、下記のとおり「親のつとめ・大人のつとめ『5育』」を掲げ、保育園から中学校までの子どもたちを健やかに育てていく取組を展開しています。今後、「たまがわ地域協育ネット」としては、この『5育』の取組を基本とし、PTAから地域へ取組を拡大し、更なる充実を図っていきたく考えています。

【たまがわ地域協育ネット】



たまがわ地域協育ネット協議会の構成

学校・園関係者	8名
PTA関係者	17名
行政関係者	4名
地域・団体関係者	8名

◇コーディネーター数：1名

親のつとめ・大人のつとめ「5育」

「わたしたち」の「ふるさと」の未来をになう子どもたちが大きな夢や志を抱いて、たくましく羽ばたくように、地域や自然とのふれあい・生きる技・知恵を授け、健やかに育てていきましょう。

ふれあい、ともにすごし、「生きる力」を育みましょう。

- 1日1回(以上)は、家族だんらんの『食事』をしよう。
- 『手伝い』を決め、働く気持ちを育もう。
- 生活する上での知恵を授けよう。

マナー、ルールを守る子どもに育てましょう。

- 善悪が判断できる、きまりが『守れる』ように育てよう。
- お互いに『あいさつ』をかわそう。
- 学習、読書、テレビ、ゲームの時間を決めよう。

がまんでできる心を育みましょう。

- がまんできたら、しっかりとめよう。
- 困難にチャレンジする精神を育もう。

思いやりの心を育みましょう。

- まわりの人々と仲良くする心を育もう。
- ものを大切にすることを育もう。
- 先祖を敬う心を育もう。

命を大切にすることを育みましょう

- 自分の身は自分で守る心構え、態度を育もう。



田万川地域PTA連絡協議会
田万川地域事務所

親・大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば、学校・地域も変わる。

主な活動の紹介

今年度8月に指定を受け、まだ準備段階ですが、これまで次のように取り組んできました。

○第1回地域協育ネット協議会の開催（平成23年12月21日）

◇地域協育ネットの立ち上げに関する協議、組織構成等の決定

コーディネーターを公民館長、事務局を学校（3小・中学校で分担）が担当することとしました。コーディネーターの業務を学校が事務局として支えながら運営することにより、学校教育と社会教育の協力・連携をスムーズにし、効果的に活動を推進できるものと考えました。

◇意見交換・協議

「田万川地域PTA連絡協議会」を母体としていることから協議会の人数が比較的多く、協議が深まらないことも懸念されましたが、次のような利点が活かされ、好スタートとなりました。

- ・現に子どもをもつ親の気持ちや立場がよく伝わり、行政や地域の関係者と共有できました。
- ・保育園から中学校までの子どもたちへの幅広く具体的な意見やアイデアが集約できました。
- ・人数が多い分、協議事項の地域全体への周知や支援の広がりが期待できます。
- ・今後、必要に応じて分野別に部会を構成して実践活動を展開することを確認しました。

○第2回地域協育ネット協議会の開催（平成24年2月16日）

◇来年度の具体的な活動について方向性を協議

○教育講演会の実施

◇他県から著名な講師を招いて教育講演会を実施

◇地域協育ネットを中心に予算面も含めて地域の協力を仰いで企画運営

- ・主 催 田万川地域PTA連絡協議会、田万川地域小・中学校
- ・後 援 田万川ふるさとづくり協議会、田万川ライオンズクラブ
- ・参加者 田万川地域小・中学校児童生徒（全員）、保育園・小・中学校保護者、地域一般

◇想定を大きく超える多くの参加者があり、充実した会とすることができました。



教育講演会

今後の取組

今後、次のような取組を推進し、充実させていきたいと考えています。

○学校支援ボランティア等の情報共有と有効活用

各校・園の情報を共有化し、学習面、生活・安全面等、様々な場面での有効活用を図ります。

○既存会議との連携及び活動の効率化の促進

既存の関連会議等と連携し、事業や活動等の整理や効率化を検討し、実効性の向上を図ります。

○学校教育と社会教育の連携・融合の推進

学校と公民館等の連携・融合を図り、子どもと大人のふれあいや幅広い学習活動を推進します。

○地域の人材や素材の教育現場への積極的活用

地域素材の教材化やゲストティーチャー招聘等により、一層魅力ある学習環境を整えます。

○保育園、小・中学校の連携を強化し、家庭教育の一層の充実に向けた取組の展開

生活リズムや生活習慣、手伝い、家族のふれあい等について、各学校・園の連携した取組を一層充実させます。

コーディネーターさんにインタビュー

Q：コーディネーターになったきっかけは何ですか？

A：学校と田万川地域事務所（旧教育委員会）関係者が協議され、推薦されました。公民館勤務及び田万川中学校運営協議会委員で、学校・地域にお世話になっているので、少しでも地域に貢献したいと思います。

Q：今後の活動についてどのように考えていますか？

A：地域協育ネットの活動内容を地域に情報提供し、活動展開をどのように進行するかが課題です。